

平成31年度 予算 可決

一般会計
48億1,479万9千円



寄居スマートIC下り線開通

新たな時代に 活かせる予算

平成31年第1回美里町議会定例会が、3月1日から20日までの20日間の日程で開催されました。この議会では、平成31年度の一般会計及び特別会計等（7会計）予算のほか、平成30年度一般会計等の補正予算、条例の一部改正等が全員賛成で可決しました。



また、議員4名による一般質問が行われました。

平成31年度予算の主な施策

平成31年度は、寄居スマートIC下り線開通や産業団地への企業進出などによる、新たな「ひと・もの・お金」の流れが生まれ、地域経済が好循環になることが期待される中で、人口減少・高齢化、公共施設の老朽化等の多くの課題を克服し、多様な資源を生かし町の魅力をさらに高め発展させ、持続可能なまちづくりのための各種事業予算が計上されました。

主要事業としては、スマートIC出入口の負担金やアクセス道路の整備事業として約1億6900万円や、防災対策として災害発生時の情報や日常の一般行政情報をより的確に伝達するため、防災行政無線のデジタル更新工事関連の予算が計上されました。

新規事業としては、中学校卒業時に英検3級の取得率50%を目指した美里英検チャレンジ事業や、地域とともにある学校づくりを進める学校運営協議会制度の導入、農業関係では、地域農業の継続的な発展につなげることを目的とした認定農業者支援事業補助金、地方創生推進交付金を活用した健康づくり事業の推進や、子育て世代包括支援センターの開設、町の核となる地域活性化施設検討業務委託料等の予算が計上されました。

平成31年度 会計別当初予算額 ()内は対前年度比

一般会計	48億1,479万9千円	(103.2%)
特別会計	28億5,604万5千円	(104.1%)
国民健康保険	13億6,661万9千円	(104.1%)
住宅資金貸付事業	3千円	(100.0%)
下水道事業	7,378万6千円	(146.7%)
農業集落排水処理事業	2億5,125万7千円	(93.3%)
介護保険	10億2,989万8千円	(103.6%)
後期高齢者医療	1億3,448万2千円	(114.4%)
水道事業会計	5億4,609万4千円	(79.3%)
総合計	82億1,693万8千円	(101.5%)



歳入

町税17億3035万円、地方交付税7億9082万円、国庫支出金4億9132万円、県支出金4億8451万円、繰入金3億9765万円、町債2億632万円などが主な財源です。

歳入の前年度対比では、町税が3650万円（町民税が2349万円、固定資産税が2013万円）、地方交付税が5928万円、また、繰入金が1億1665万円の増となっています。

歳出

総務費7億4925万円、民生費14億7535万円、土木費5億9399万円、教育費4億2990万円が主なものです。

歳出の前年度対比の主な状況は、地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金などが増加したことにより、民生費が5355万円の増、また、生活習慣病予防対策業務委託料等が増加したことにより、衛生費が5530万円の増となっています。

一方、道整備交付金による道路新設改良事業等が減少したことにより、土木費が5656万円の減、防災倉庫建設事業等の減により消防費が1億2649万円の減となっています。



上の写真は今年の大沢小学校の入学式。児童数は徐々に増えているんだよ！

